

東北育種場 奥羽増殖保存園を訪問しました

令和6年6月20日(木)に山形県東根市にある国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター 東北育種場 奥羽増殖保存園を訪問しました。

森林総合研究所 林木育種センター 東北育種場(以下「東北育種場」)では、成長や材質等に優れた品種や、マツ枯れに強いマツノザイセンチュウ抵抗性品種等の優れた品種を開発するとともに、その原種の増殖・配布などを行うことにより、林木の優良な種苗の確保・普及に取り組んでいます。管轄区域は、青森・岩手・宮城・秋田・山形・新潟の6県にわたり、雪の影響による根元曲がり著しく少ない雪害抵抗性スギの開発など、東北地方ならではのニーズに対応した育種も実施しています。

山形森林管理署では、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の現場への実装を見据え、「新しい林業」に必要不可欠な存在となっている特定母樹やエリートツリー、少花粉スギ等の開発や増殖についての見学会をこの度企画しました。

当日は山形市役所、森林組合をはじめ計26名が参加し、エリートツリー・特定母樹等の採穂木管理、配布用さし木苗の増殖と養苗の状況を見学しました。参加者からの質問も活発に飛び交う様子が見られ、東北育種場への地域方々の期待の大きさが伺えました。

森林管理署としましても、東北育種場が検定林を設定する場所の提供や特定母樹等の活用・PRを通じて、今後も林木育種事業の発展に寄与していきたいと考えております。

また、東北育種場では林木育種技術の講習や指導等も行っています。ご興味のある方はぜひ連絡してみてください。

